

2021年6月8日

船橋市長 松戸 徹 様

新型コロナウイルス感染症対策、 東京五輪・パラリンピックに関する緊急の要望書

日本共産党船橋市議会議員団
代表 岩井 友子

新型コロナの感染を抑止できていない中での東京五輪・パラリンピックの開催に、世論の6～8割が中止や延期を求めています。開催すれば世界から10万人もの選手や関係者が集まり、新たな変異株の発生と、その世界的な拡大さえも懸念されています。あわせて五輪への医師・看護師・消防職員らの派遣、特別な病床の確保など、逼迫している医療体制をさらに危機に追いやり、コロナ封じ込めと人命救助への重大な負荷となります。

日本共産党市議団は、船橋市で予定している五輪関係の全ての事業について、中止を前提とした再検討を求めます。よって、以下の通り申し入れます。

記

1. 船橋市はアメリカ男子体操チームの事前キャンプを受け入れる予定ですが、選手や関係者のPCRなどの検査を原則毎日実施することが求められています。全国では事前合宿のキャンセルや、相手側からの辞退が相次いでいます。船橋市においても、関係機関と中止に向け話し合いを行うこと。
2. 観戦に、全国で128万人の子どもたちを参加させる予定です。船橋市においては20の小中学校、児童・生徒・引率1,947人の観戦が予定されています。競技会場までの移動は公共交通機関を使うとされ、真夏の炎天下では熱中症の危険もあります。子どもたちをコロナ感染などの危険に晒す競技観戦は中止すること。
3. 東京五輪・パラリンピックの中止を国と東京都に申し入れること。

以上